No. 342

ことわざ・教養・背景知識 ULTIMATE CHEAT SHEET

背景知識チートシート：経済・グローバル化・働き方

経済の長文の核心は「だれが得をし、だれが損をするか」。全体の利益と、その陰の負担を両方読む。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. グローバル化は「全体では得、国内で損する人も出る」
2. 平均は一部の高所得者に引っぱられる。ふつうの人は中央値
3. 新しい働き方は「自由」と「不安定」の表裏一体

このテーマは「勝者と敗者」で読む

経済の長文は、ある変化（貿易・技術・制度）で**「全体としては豊かになるが、負担はだれかに集中する」**と論じる型が圧倒的に多い。賛成派は全体の利益を、反対派は損をする人を見ている。筆者がどちらに光を当てているかで主張が決まる。

◆ ① 入試で狙われる論点（対立する見方） 7

☐ 1 グローバル化は人を豊かにするか

賛：貿易で安く多様な商品が手に入り、新興国で多くの人が貧困から抜け出した。否：工場の海外移転で国内の雇用が失われ、国の中の格差が広がった。賃金や環境基準の切り下げ競争の懸念も。

> Globalization has created winners and losers.
> グローバル化は勝者と敗者を生み出した。

☐ 2 格差はどこまで問題か

見方A：努力や才能の差の結果で、ある程度は意欲を生む。見方B：生まれた家庭で教育や機会が決まるなら不公平。「結果の平等」か「機会の平等」かの区別が鍵。

☐ 3 ギグエコノミー

アプリで単発の仕事を受ける働き方。賛：好きな時間に働ける、副収入。否：収入が不安定で、病気やけがの保障がない。働き手は「従業員」か「個人事業主」か、が法的な論点。

☐ 4 リモートワーク

賛：通勤がなく、子育て・介護と両立しやすい、地方に住める。否：孤立、雑談からのアイデアが減る、仕事と私生活の境目があいまい。在宅でできない仕事との不公平も。

> Remote work gives people more flexibility, but it can blur the line between work and home.
> 在宅勤務は柔軟性を与えるが、仕事と家庭の境目をあいまいにしうる。

☐ 5 ベーシックインカム

全員に無条件で一定額を配る制度。賛：仕組みが簡単で支援の漏れがない、AIによる失業への備え。否：莫大な財源、働く意欲が下がるのでは、という懸念。

☐ 6 消費社会と幸福

大量生産・大量消費は生活を豊かにしたが、使い捨てや環境負荷を生んだ。モノより経験、所有より共有（シェアリング）という価値観の変化がよく出る。

☐ 7 お金で幸せは買えるか

所得が増えると満足度は上がるが、国全体が豊かになっても幸福度が上がらないという指摘もある（イースタリンの逆説）。他人との比較や慣れが原因とされる。

◆ ② 論理の流れの典型

型	流れ	設問で狙われる所
歴史の繰り返し	産業革命で職人の仕事が消えた→新しい仕事が生まれた→今回のAIは？	過去との共通点と違い
勝者と敗者	全体の利益→損をする人々→補う政策	損をするのはだれか
数字の読みかえ	平均ではよく見える→中央値や内訳で見ると違う	どの数字を根拠にしたか
逆説	豊かになった→でも幸福・時間のゆとりは増えない	なぜ増えないかの説明
働き方の変化	昔の終身雇用・通勤→今の多様な働き方→利点と課題	今の課題の具体例

◆ ③ 必須キーワード：概念で覚える 20

英語	和訳	ひと言
☐ **comparative advantage**	比較優位	相対的に得意なものに特化すると双方得
☐ **protectionism**	保護貿易主義	関税で国内産業を守る
☐ **supply chain**	供給網（サプライチェーン）	原料から消費者までの流れ
☐ **offshoring**	海外移転	工場・業務を国外へ
☐ **race to the bottom**	底辺への競争	賃金・規制を下げ合う
☐ **income inequality**	所得格差	wealth inequality＝資産格差
☐ **the Gini coefficient**	ジニ係数	0が完全平等、1が最大の不平等
☐ **social mobility**	社会移動	階層を上下に移れる度合い
☐ **equality of opportunity**	機会の平等	outcome なら結果の平等
☐ **gig economy**	ギグエコノミー	gig＝演奏の1回の仕事から
☐ **independent contractor**	個人事業主（請負）	employee との違いが争点
☐ **universal basic income**	ベーシックインカム	UBI と略す
☐ **safety net**	安全網（社会保障）	落ちた人を受け止める制度
☐ **productivity**	生産性	投入（時間・人手など）あたりの産出
☐ **conspicuous consumption**	顕示的消費	見せびらかすための消費（Veblen）
☐ **planned obsolescence**	計画的陳腐化	わざと早く古くさせ買いかえさせる
☐ **sharing economy**	シェアリングエコノミー	持たずに共有・貸し借り
☐ **GDP (gross domestic product)**	国内総生産	国内で生んだ付加価値の総額。幸福の量ではない

☐ **median / average**	中央値／平均値	格差の話では中央値が重要
☐ **hedonic treadmill**	快楽のランニングマシン	手に入れてもすぐ慣れる

◆ ④ よく紹介される理論・研究

項目	中身
比較優位（Ricardo 1817）	英国の布とポルトガルのワインの例。両方が苦手な国でも、得意な方に特化して交換すれば双方が得をする
顕示的消費（Veblen 1899）	富を見せるための消費。高いほど売れる商品があることを説明
エレファントカーブ	1988〜2008年の世界の所得の伸びを示す図。新興国の中間層と最富裕層が大きく伸び、先進国の中・低所得層は伸び悩んだ（Lakner & Milanovic）
在宅勤務の実験	中国の旅行会社のコールセンターで、在宅勤務の社員は成果が上がり離職も減った（Bloom ら 2015）。職種で結果は変わる
フィンランドの実験（2017〜2018）	失業者2,000人に月560ユーロを無条件で給付。就業への効果は小さく、幸福感や健康の自己評価は改善した
お金と幸福	年収が一定額を超えると日々の幸福感は頭打ちとする研究（Kahneman & Deaton 2010）に対し、上がり続けるという研究も。2023年の共同研究で「多くの人は上がり続け、最も不幸な層では頭打ち」と整理された

◆ ⑤ 英作文で使える一文 7

☐ **Globalization has brought both opportunities and challenges.** … グローバル化は機会と課題の両方をもたらした。
導入の万能文。bring の過去分詞 brought

☐ **Everyone should have an equal chance to succeed, regardless of their background.** … 生まれ育ちにかかわらず、だれもが成功する平等な機会を持つべきだ。
機会の平等。regardless of〜

☐ **Hard work alone does not always guarantee success.** … 努力だけで必ず成功するとは限らない。
not always＝部分否定

☐ **Buying more things does not necessarily make us happier.** … 多くの物を買っても幸せになるとは限らない。
消費社会の論点。make O 比較級

☐ **Gig workers need better protection, such as sick pay and insurance.** … ギグワーカーには病気休暇の手当や保険などのよりよい保護が必要だ。
such as で具体例を足す

☐ **A basic income would be simple, but it would also be very expensive.** … ベーシックインカムは簡単な仕組みだが、非常に費用がかかるだろう。
仮定の話なので would

☐ **Those who lose their jobs because of trade should be supported.** … 貿易のせいで職を失う人々は支援されるべきだ。
those who〜＝〜する人々

◆ ⑥ よくある誤解 6

☐ ✕ ~~貿易は一方が得をすれば、もう一方が損をする~~
○ **国どうしは双方が得をしうる。ただし国内に損をする人は出る**
比較優位の考え方

☐ ✕ ~~世の中の仕事の量は決まっていて、機械に奪われた分だけ減る~~
○ **生産性が上がると新しい需要と仕事が生まれてきた**
労働塊の誤謬。ただし移行期の痛みは大きい

☐ ✕ ~~GDP が増えれば国民はその分幸せになる~~
○ **GDP は市場で生んだ価値の総額で、家事・余暇・環境などは測らない**
幸福度や健康を含む指標も議論される

☐ ✕ ~~平均年収＝ふつうの人の年収~~
○ **一部の高所得者が平均を引き上げる。真ん中の人は中央値**
高所得側に裾が長いと平均＞中央値

☐ ✕ ~~お金を配ると人は働かなくなる~~
○ **これまでの実験では就業が大きく減る結果は出ていない**
ただし実験は規模・期間が限られる

☐ ✕ ~~リモートワークはだれでも選べる働き方~~
○ **医療・物流・接客など現場の仕事は在宅にできない**
職種による格差も論点

◆ 確認テスト

1 高級ブランドを見せびらかすために買う消費は？
a sharing economy　b conspicuous consumption
c planned obsolescence　d protectionism

2 格差が大きいとき、平均値と中央値の関係は？
a 平均値の方が高くなりやすい　b 中央値の方が高くなりやすい
c 関係はない　d 必ず同じになる

3 Hard work alone does not ＿＿ guarantee success.
a always　b no　c never　d hardly

4 生まれた家庭の階層から上下に移れる度合いは？
a safety net　b supply chain　c social mobility　d productivity

5 各国が賃金や環境規制を下げ合って企業を呼び込む状態は？
a comparative advantage　b gig economy　c race to the bottom
d hedonic treadmill

◆ 解答

1 conspicuous consumption conspicuous＝目立つ
2 平均値の方が高くなりやすい 高所得者が平均を押し上げる
3 always not always＝必ずしも〜ない
4 social mobility 機会の平等の指標
5 race to the bottom 底辺への競争

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）